

## 第10回プルトニウム混合燃料に関する懇談会議事録

日 時：平成18年5月8日(月)

10:30~11:00

場 所：サンラポーむらくも「瑞雲の間」

橘調整監 大変お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただいまから第10回プルトニウム混合燃料に関する懇談会を開催いたします。

本日は、委員12名のうち石川委員及び梅野委員が御欠席となっております、10名の御出席でございます。半数以上の出席でありますので、プルトニウム混合燃料に関する懇談会設置要綱第5条第2項の規定に基づき本日の懇談会は成立していることを御報告いたします。

それでは、片山会長からごあいさつをお願いします。

片山会長 皆様方には連休明けでいろいろ御多用の中、この会議に御出席いただきましてありがとうございます。また、今日の審議にも御協力いただきますようお願いいたします。

橘調整監 ありがとうございます。

続きまして、本日の日程と配付資料について御説明いたします。

日程でございますが、お手元に次第をお配りしております。本日は、前回の御検討に続きまして報告書案について御検討いただきまして、午前中、12時30分の終了予定としております。

それから、配付資料でございますが、お手元に前回の議論を踏まえ報告書素案を修正して報告書案としまして、資料ナンバー1を御用意させていただきました。別途、資料ナンバーのない第9回プルトニウム混合燃料に関する懇談会議事録要旨の案をお配りしております。これにつきましては、恐れ入りますが、お気づきの点がございましたら10日水曜日までに事務局の方へ御一報をいただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。資料の方は、よろしいでしょうか。

それでは、これからの進行につきましては、懇談会設置要綱第5条の規定により、会長に議長をお願いいたします。よろしくをお願いします。

片山会長 それでは、本日の議事に入らせていただきます。

まず、報告書案でございます。先ほど話がありましたように、前回報告書の素案を懇談会の場に提示いたしまして、それについて委員の御意見を伺いました。そして、その時、御指摘があった修正を施したものが、本日、報告書案として提出されております。

では、まず事務局の方から修正箇所を中心に御説明をお願いしたいと思います。お願いします。

萬燈室長 失礼いたします。それでは、資料ナンバー1をご覧いただきたいと思います。

まず、1ページでございますが、区分について数字を付けまして分かりやすくするというところで、検討結果をローマ数字の にしまして、「以上の結論に達した理由は、次のとおりである」というところに算用数字の1を入れております。

そして、内容でございますが、まず「(2)必要性」の は「プルサーマルの実施は有効である」としてあります。素案では、「有効であり改善効果が期待できる」としてありましたが、これを「有効である」というように修正しております。続いて、 の高レベル放射性廃棄物に関してござい

ますが、2ページ目の「高レベル放射性廃棄物の量と放射能の強さが減少し、直接処分する場合と比べて有利である」と修正しております。以前は、「直接処分する場合と比べて放射能の強さが減少し、有利である」という表現になっていました。

そして、「(2) 経済性」でございます。これが非常に分かりにくいということでございましたので、大幅に字句を訂正いたしまして、ここにありますように、「プルサーマルによる電気料金への影響は、原子力発電コストに占める燃料費及びMOX燃料の使用規模の割合が小さいことから、影響はほとんどないと思われる」と修正しています。

続いて、「(3) 安全性」の でございますが、「プルサーマルは、海外では、以前は相当の実績がある」としていましたが、「30年以上にわたる実績がある」と修正しています。そして の2行目の真ん中から後ですが、「これを適切に炉心管理に反映させることによって」と書いていますが、以前は「これを適切に運用等に反映させること」となっていたが、「炉心管理に反映させる」と修正しています。そして、これも1行目の終わりの方ですが、「プルトニウムの特性を考慮して燃料設計することにより」としてありますが、以前は、「燃料設計」ではなくて単なる「設計により」と書いていましたので、分かりやすく「燃料設計することにより」と修正しています。

そして、「以上のことを踏まえると」の段落でございますが、2行目の「ウラン燃料を使用する従来の原子力発電とほぼ同等の安全性」が素案では、「原子力がなくて従来の発電と」となっていたが、「原子力」を入れて分かりやすくしています。そしてこの段落で、「安全への配慮がなされるものと理解できる」としてありますが、以前は、「安全への配慮がなされることは理解できる」との表現になっていました。

そして、2ポツの「本懇談会は」について、これも以前は数字の番号を付けていませんでしたが、番号を付けています。第1段落目の後に、「その結果、上記の結論に達したものである」を追加しております。そして、「しかしながら」の行でございますが、「国民の認知が必ずしも十分とは」に、以前は「必ずしも」が入っていませんでしたが、「必ずしも十分とは」と修正させていただきます。

そして、「記」に入りまして、「1安全対策」でございますが、これは国、県、中国電力、それぞれ分かりやすくまとめるようにということでしたので、このような順番に変えてまとめてまして、最初の1行目といえますか最初の丸で、「人の命は何よりも重いという観点から、原子力発電の安全確保に万全を期すこと」ということで、この部分を修正しております。そして3つ目の丸、「テロ、自然災害(地震)、シビアアクシデント」について、素案では入っていませんでしたが「シビアアクシデント」を入れております。

そして、「2県民の理解と不安解消」ですが、これは素案では3番になっておりましたが、2番に繰り上げてまして、一番最後の丸の「住民の理解と信頼を得るための真摯な事業活動など、さらなる努力をすること」でございますが、「真摯な事業活動など」という言葉を追加しております。

そして、3でございますが、これを以前は「代替エネルギー」にしていたが、「再生可能エネルギー」に変えてまして、「再生可能エネルギー(太陽光・風力・バイオマスなど)の技術開発及び導入促進に積極的に取り組むこと」ということで、素案では「導入促進」と「技術開発」が逆に

なっていましたので、このように「技術開発及び導入促進」と修正しています。

そして、4ページ「4地域振興」でございますが、最初の丸の「地域コミュニティの育成等」にしていますが、素案では「醸成」となっていましたので、ここを修正させていただいています。そして、2つ目の丸に「電源三法交付金制度の充実拡大」ということで、「充実」という言葉を入れさせていただいています。そして3つ目の丸ですが、「電源三法の交付金制度を活用して」という言葉を新たに挿入させていただいてまして、「若者が定住できる活力ある地域の実現を図ること」と修正していますが、素案では「活力ある松江市を実現する」となっていました。また、「地域」という言葉に変えさせていただいています。

そして、5の「その他」でございますが、これは素案で「技術」という区分にしていたのですが、「その他」という区分にしています。

そして、5ページの「検討の経過」でございますが、真ん中、2つ目の段落の最後ですが、「質疑応答を行い、要検討項目を定め専門家である参与の見解や助言を受けながら検討を行った」という部分を追加しております。

8ページ以降の部分でございますが、専門家や国の見解につきまして、区分を分かりやすく、（反対・慎重の立場）（賛成・容認の立場）（国の見解）というよう括弧で見出しを付けています。

懇談会委員の皆さんの意見等で、例えば要望を「5つの要望」ということで記載していませんでしたが、例えば10ページの懇談会委員の意見の2つ目の丸、素案では括弧して（5つの要望）というように載せていたのですが、具体的にその要望を記載しています。

そして12ページの下から4つ目の丸ですが、「シナリオ4」というものが分かりにくいということで、「シナリオ4」の説明を括弧書きで入れさせていただいております。

あと、語尾を揃えたり、要検討項目の検討結果のところでは間違っって専門家の見解を入れていましたので、その修正、あるいは語尾の修正をさせていただいています。以上でございます。

片山会長 ありがとうございます。

それでは、今、報告がありました報告書案につきまして御意見をいただきたいと思っております。

なお、本日御欠席の石川委員及び榊野委員につきましては、この資料を事前に配付して御確認をいただきまして、異論がないという旨の回答をいただいております。また、本日の報告書案の取り扱いについては、お二人については会長に一任するということの報告を受けております。

それでは、今、説明ありました報告書案につきまして御意見ございましたら、よろしくお願いたします。

この前の懇談会で御発言されたもののうち反映されてないものがあれば、御指摘いただければと思います。その他の御意見もどうぞお受けいたしますので、よろしくお願いたします。

それでは、まず、この前、御指摘されたもののうち反映されていない部分がありましたら、まず御指摘をお願いいたします。大体御発言なされたものが、皆反映されていると考えてよろしいでしょうか。御確認をお願いいたします。

それでは、一応この前出されました御意見につきましては、反映されているというように考えてよろしくお願いたしますか。確認させてください。よろしくお願いたしますか。

では、一応この前の懇談会に出ました意見はこの修正案に反映されているということを確認させていただきます。

ほかに全体としての御意見ございましたら。特にこの報告書に限定せずに、何かございましたらお受けしたいと思います。

A委員、お願いいたします。

A委員 すみません。新しい今日の報告書案が送られてきた時に、分かりやすく赤い字で変えたところを書いてありますけれど、中国電力さんのところが随分と増えているなという気持ちがしました。それはこの前の26日の私たちの質問というか、それを反映したものなのか、それともやはりもうちょっとこれくらいは付けなければいけないということなのか、その辺が不思議だなと思って見させていただきました。

片山会長 では、事務局から説明お願いいたします。

萬燈室長 事務局で準備いたしました中国電力さんの回答が、第1回目の説明と第6回目の説明がございまして、事務局では第1回目の説明を引用した部分が多うございまして、第6回目はご覧のように資料がたくさんありましたので、そちらをまず採用する方が分かりやすいということで、そちらを採用させていただきました。

それと、「検討結果の概要」のところですが、「安全性」のところを一言で「3分の1にすれば従前と同じような対応がとれる」というところだけを入れていたのですが、それでは足りないだろうということで、それぞれの項目についてやはり中国電力さんの見解を入れたということと、そのほか検討項目でテロや経年化や耐震など回答があるわけですが、あまり長くなると読みにくいということで入れていなかったのですが、事務局中の話し合いの中で、論点の1つ1つについては、やはり見解を載せた方がいいのではないかということで1つ1つ載せた形になりましたので、少し増えたということでございます。

片山会長 今回の御説明でよろしいでしょうか。

ほかに御意見、御質問ございますか。

この報告書案につきましては、ほかに御意見ございませんか。よろしゅうございますね。

では、その他で何か議論がございましたらお受けいたします。

B委員、お願いいたします。

B委員 これは私の意見の根拠となるところですので、すみませんが、活断層についていろいろと報告されておりますので、そのことについてお聞きできればと思うのですが、中電さんをお願いしていいですか。いろいろ現在のところの活断層に対する、活断層が広いとか長いとか危ないとかいろいろな見解が出ていますし、それから国の方の指針も変わりつつあるようですので、その辺りを御説明いただけるとありがたいと思います。

岡田常務(中国電力) これは連休中にされた調査のことだと思いますが、私どもは調査の詳細について把握いたしておりませんので、当社としてのコメントは今のところできません。ただ、島根原子力発電所の3号機の増設にあたりまして十分な調査を実施したというように考えておられて、それをもとに耐震設計を行っておりまして、安全を確保されているというように思っております。

す。また、1号機、2号機につきましても、3号機の基準地震動を使ってチェックをいたしまして、安全性は確保されているということを確認いたしております。

片山会長 御意見ございますか。

B委員 ということは、今のところは中国電力さんとしては、今後出されるような国の指針にも耐え得るであろうというお考えということによろしいでしょうか。

岡田常務(中国電力) 先般、耐震指針といいますが、指針の見直し案が提示されました。もちろんこれにつきましても、我々は必要であれば的確に反映、対応をとっていくことにいたしております。3号機の安全性について我々は十分自信を持って安全確保できるというように思っております。

片山会長 では、ほかにございましたらお受けしたいと思います。よろしいでしょうか。御意見ございませんか。

C委員、お願いいたします。

C委員 今のB委員の質問を、県の方はどの程度把握していらっしゃるのでしょうか。私ども報道でしか一方的に知らされておられませんので、もし県の方で先般の報道について何か御見解等がございましたらよろしくお願いします。

萬燈室長 県も報道でしか承知しておりません。国の委託とか県の委託とかの調査ではないようですので承知しておりませんが、県としては国に対して少し見解を聞きたいと思っております。ですから、現時点ではよく、正直分からないということでございます。

片山会長 よろしゅうございますか。

ほかに意見がございましたらどうぞ、質問でも。

それでは、この報告書案に至る経過を少し復習してみましようか。まず、第1回目の会議で申しましたように、まず最初は、委員それぞれが参加される前から御意見を持っていたと思うのですが、一旦それを離れていただいて、そして最初は必要性とか安全性とか、こういうことに関して検討しないといけない項目を抜き出して、そしてできるだけそれを正確に把握しようということで、いろんな立場の専門のお話を伺って、そして質疑応答してきたということでございます。それからまた県民の代表の方の意見も伺いました。そういうことで、ベースとなることにつきましては一応共有化がじっくり図られたというように思っております。その結果をまとめたものが先ほどの8ページ以降に記されているというわけでございます。

そして、次の段階は、この要素から結論に至る論理の組み立て方、これは委員の独自性を尊重するという立場から意見書をメモで出していただくという形をとらせていただきました。そしてこの意見書の内容とか表現を極力尊重しつつ、会としての意見をまとめるためにたたき台をつくるという作業をワーキンググループで行っていただきました。そして、このワーキンググループの作業結果が前回の懇談会に出されまして、これをもとにこの懇談会の場で議論されたと。そして、その御意見出たことを入れてまとめ上げたものが今お示ししている報告書案で、これがこの報告書案ができるまでの筋道でございました。

そして、先ほどから意見がないかどうかの確認を行っているのですけれども、もう一度確認させ

いただけますでしょうか。ほかに今の報告書案につきまして御意見がある方は、申し出てください。よろしゅうございますね。

そうしますと、一応この報告書案につきましては皆様方の意見を十分に反映できたというように理解させていただきます。

さて、この後の取り扱いでございますけども、どういたしましょうか。一応きちっと採決を取らせていただきますでしょうか。どうしましょうか。

それでは、今のこの報告書案、これを依頼元である知事に御報告するということが控えておりますけども、この報告書案に基づいて行っていいかということにつきまして採決を取らせていただきます。採決に参加できる方は懇談会委員だけでございます。

それでは、これで異議なしという方、恐縮ですけども、挙手をお願いいたします。

〔賛成者 8 名挙手〕

片山会長 今、挙手されましたのが 8 名、それから、今日御欠席の 2 人につきましては先ほど申しましたように会長一任ということをお願いしておりますので、賛成の側に入れさせていただきます。以上 10 名が賛同いただきましたということで、多数でもって一応この案が承認されたと、こういうように理解をさせていただきます。どうもありがとうございました。

さて、この後の予定でございますけども、一応この案は先ほど修正の必要はないということでございましたので、これに基づきまして知事に報告したいと思っております。その報告の仕方につきまして事務局から案がありましたら、御説明をお願いいたします。

萬燈室長 知事への報告の日時でございますが、知事の日程を押さえておりますのは、本日の午後 2 時から 20 分間予定を押さえておりまして、知事への報告につきましては片山会長さん、副会長さんをお願いできればと思っております。場所は知事室でございます。以上でございます。

片山会長 そういう形で報告させていただいてよろしいでしょうか。よろしゅうございますね。

それでは、副会長さん、よろしくをお願いいたします。

以上で本日予定されていた議事は終わりでございますけども、最後に事務局から何か伝えることがありましたらお願いをいたします。

萬燈室長 ございません。

片山会長 それでは、本日の議事は以上で終了させていただきます。どうも御協力ありがとうございました。

この懇談会、不束ですけども、私、会長を引き受けまして、本当に経験のなさで無力で皆さんに非常に御迷惑かけたと思っておりますけども、どうも本当に御協力ありがとうございました。

橘調整監 どうもありがとうございました。

ここで、県を代表しまして加松総務部長から一言御礼のごあいさつを申し上げます。

加松総務部長 4 月から県の総務部長を拝命いたしております加松と申します。

片山委員長初め懇談会の委員の皆様方におかれましては、昨年の 11 月以来、10 回にわたりまして大変熱心な御議論いただきまして、ありがとうございました。そして、先ほど知事への報告書を取りまとめいただきましたこと、心から御礼を申し上げる次第でございます。

このプルサーマルの問題は、この周辺住民、県民の安全確保というような非常に重要な問題であるだけに極めて多方面から熱心に精力的に御議論いただきましたこと、心から御礼、感謝申し上げたいと思います。

今後はこの報告を踏まえまして、また専門家、それから県議会の意見を伺いまして、それで事前了解の願いの可否につきまして県として判断してまいりたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

橘調整監 これをもちまして第10回プルトリウム混合燃料に関する懇談会を終了させていただきます。

～ 以 上 ～